

2023年2月24日

各 位

ENEOSホールディングス株式会社
ENEOS株式会社

「ENEOSと、はじめよう！カーボンニュートラル・チャレンジ」の実証を開始 ～カーボン・オフセットを活用して、地球にやさしいドライブしませんか？～

ENEOSホールディングス株式会社・ENEOS株式会社（社長：齊藤 猛）は、当社サービスステーション（以下、「SS」）において、2021年4月1日～2023年3月31日（以下、「対象期間」）までにガソリンおよび軽油を購入いただいた個人のお客様を対象に、カーボン・オフセットサービスの実証を開始しますので、お知らせいたします。

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です^{*1}。

環境保全、地球温暖化の防止に関心の高いお客様から、カーボン・オフセットをはじめ、環境に配慮したサービスの提供を期待するお声をいただいておりますが、オフセットに用いるカーボン・クレジット（削減・吸収量）は、取引単位が1 t/CO₂と個人のお客様が参加されるには大きすぎる難点がありました。

今般の実証では、お客様が使用するガソリン・軽油から排出されるライフサイクルCO₂^{*2}の数量に見合うカーボン・クレジットの購入サービスを開発・提供します。お支払いいただいた購入費用は、国内を中心とする3つの環境保全活動^{*3}に役立ててまいります。

なお、本実証は、信頼性をより高めることを目的として、国際的な第三者機関であるソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による審査を受け、カーボンニュートラル・チャレンジの算定・運用システム手順の妥当性を確認し、第三者認証を取得しました。

ENEOSグループは、革新的事業やこれまでにない価値を創造するサービスの構築を通じて、脱炭素・循環型社会への貢献を目指してまいります。

〈実証概要〉

実 証 名	「ENEOSと、はじめよう！カーボンニュートラル・チャレンジ」
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・対象期間内にENEOSマークのSSにてお客様に購入いただいたガソリン・軽油の数量内で、選択いただいた数量に相当するCO₂をオフセットすることができます。 ・ご参加いただいたお客様には、カーボン・オフセット証書を電子上で送付します。 ※本プログラムは、ガソリン（レギュラー・ハイオク）および軽油の販売ではありません。 ※対象期間終了前であっても、予定数量に達した場合は本実証を終了いたします。
申込み期間	2023年2月24日～2023年3月31日（予定数量に達した場合は期間前に終了）
対象期間	2021年4月1日～2023年3月31日
対 象 者	ENEOSマークのSSにおいて、対象期間中にガソリンおよび軽油を給油、または給油予定のお客様
購入クレジット	<p>以下からお選びいただけます（税抜き）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100円（25円× 4L） ・ 300円（25円× 12L） ・ 500円（25円× 20L） ・ 2,000円（25円× 80L） ・ 5,000円（25円× 200L）
専用サイト	<p>URL : https://eneos-cnchallenge.jp QRコード : </p> <p>〈専用サイト画面〉</p>  <p>〈カーボン・オフセット証書（サンプル）〉</p> 

※1 出典： 環境省 [カーボン・オフセット](#) | [地球環境・国際環境協力](#) | 環境省

※2 本実証のライフサイクルCO₂は、燃料採掘から使用に至るまでのCO₂排出量です。
CO₂排出量の算定にあたっては、株式会社ウェストボックスにご協力いただいております。
2021年3月18日公表：[CO₂排出量削減事業の推進に向けた環境価値取引事業の協業について](#)



出典：環境省 「自動車による排出量のバウンダリに係る論点について」
[【資料2-2】自動車排出量のバウンダリ](#)を加工して作成

※3 環境保全活動

①家庭における太陽光発電設備の導入によるCO₂排出削減プロジェクト

(Jクレジット制度 プログラム型 プロジェクト番号P1)

各家庭の取り組みをまとめたプログラム型事業*。

日本全国の家庭が住宅用の太陽光発電を導入することにより、電力会社等が供給する系統電力の使用量を削減し、CO₂を削減するものです。

*プログラム型とは複数の削減活動を取りまとめて、1つの大きなプロジェクトとして運用するものです。

②新潟県佐渡市「トキの森」設備事業

(新潟県版J-クレジット制度 プロジェクト番号NJCS-PJ0004)

佐渡の森林において適切な間伐を行い、健全な森林を育成していきます。

③インドにおける太陽光発電事業

(Verified Carbon Standard Program PJ ID 1770)

インドのテランガーナ州およびアーンドラ・プラデーシュ州において、太陽光発電設備を導入します。

別紙：カーボンニュートラル・チャレンジ算定・運用システム妥当性確認報告書

以上

カーボンニュートラル・チャレンジ算定・運用システム 妥当性確認報告書

ENEOSホールディングス株式会社
代表取締役社長 齊藤 猛 殿

1. 妥当性確認対象

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社（以下、「SOCOTEC」という。）は、ENEOSホールディングス株式会社（以下、「組織」という。）の依頼により、組織が定めるカーボンニュートラル化の対象となる燃料のGHG排出量計算方法^{※1}及びカーボンオフセットによるカーボンニュートラル化のための運用マニュアルである「カーボンニュートラル・チャレンジ算定・運用マニュアル」（以下、「CN燃料算定・運用マニュアル」という。）に基づき、カーボンニュートラル対象燃料（以下、「CN燃料」という。）のGHG排出量が適切に算定され且つカーボンニュートラル化の手順が運用されるかについて「カーボンニュートラル・チャレンジ算定・運用システム」（以下、「CN燃料算定・運用システム」という）に対する意見を表明するために妥当性確認を行った。
本件の目的は、「CN燃料算定・運用システム」の妥当性を客観的に評価し、算定されるCN燃料の信頼性をより高めることにある。

2. 妥当性確認概要

SOCOTECは、「CN燃料算定・運用マニュアル」並びに「カーボンニュートラルの実証のための仕様」(PAS2060:2014)、「カーボン・オフセットガイドライン Ver2.0」(環境省)を参照し、ISO14064-3の要求事項を参照したSOCOTECの手順に基づいて妥当性確認手続きを実施した。妥当性確認対象範囲は販売対象となる燃料販売量当たりのLC(Life Cycle)CO₂排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びに販売されるCN燃料の算定・運用システムである。LCCO₂排出量とは、燃料の採掘から燃焼に至るまでの段階で排出されたGHG排出量のことをいう。保証水準は「限定的保証水準」、重要性の量的判断基準は想定される総排出量、オフセットで使用されるクレジット量並びにCN燃料販売量の5%とした。

妥当性確認手続きでは、組織において、「CN燃料算定・運用マニュアル」におけるCN燃料のLCCO₂排出量の算定バウンダリー、算定体制を確認し、「CN燃料算定・運用マニュアル」に従って販売対象燃料のLCCO₂排出量、CN燃料のオフセットのために使用されるクレジット量並びにCN燃料量が適切に算定され且つ運用されるかについて確認した。

3. 妥当性確認の結論

組織による「CN燃料算定・運用マニュアル」に基づき、販売対象となる燃料販売量当たりのLCCO₂排出量、CN燃料のオフセットのために使用されるクレジット量並びにCN燃料量が適切に算定・運用されない事項は発見されなかった。

4. 留意事項

「CN燃料算定・運用システム」の責任は組織にあり、本妥当性確認に関する責任はSOCOTECにある。
組織とSOCOTECとの間には、特定の利害関係はない。

^{※1}GHGプロトコル及び温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における算定方法、排出係数、IDEA Ver3.2が提供する排出原単位に基づく算定方法とLCAに基づく燃料の採掘から精製、輸送、燃焼までのGHG排出量算定方法

ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社
執行役員社長 二場 誠吾



Seigo Futaba

2023年2月8日